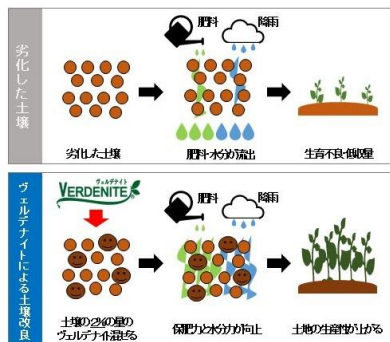


## 伊勢原市の企業の土壌改良剤が ケニアの農業を変える

### 大豆の生産性向上を通じたケニアの栄養改善に取り組む

国際協力機構（JICA）は、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業～案件化調査～」において、ヴェルデナイト株式会社（神奈川県伊勢原市、田野島永明代表取締役社長）・株式会社ボーダレス・ジャパン（東京都新宿区、田口一成代表取締役社長）が共同提案する「小規模農家向けの土壌回復と栽培指導を通じた大豆の生産性向上と栄養改善事業案件化調査」（ケニア）を採択しました。現在、早期の調査開始に向けた準備が進められています。

ケニアでは、国民の約1/3が慢性的な食料・栄養不足に苦しんでいるとも言われており、ケニア政府は、食料の安定供給と栄養改善を目指し、高栄養価作物である大豆の増産を重要施策に位置づけ栽培を奨励し、大豆種子や肥料の無料配布に取り組んでいます。しかしながら、痩せた乾燥土壌と不適切な栽培方法に起因する低い生産性や、生産者が収益の向上を図りにくい農産物の流通構造等がネックとなり、十分な成果を上げることができていません。



天然有機資材を原料とした  
人工土壌「ヴェルデナイト」

ヴェルデナイト（株）の製品「ヴェルデナイト」は、天然有機資材を原料とした人工土壌で、通常の土壌の約10倍の保水力と約50倍の保肥力を備え、農地に少量を追加すると作物の生長を促進し、収量向上を実現できます。

また、(株)ボーダレス・ジャパンは、「ソーシャルビジネスで世界を変える」ことを目指す社会起業家が集うプラットフォームカンパニーとして、8か国で社会問題を解決する24の事業を展開しており、バリューチェーンの検証等を通じた社会問題の解決と利益をもたらすビジネスの両立にかかる豊富な知見もっています。

本案件化調査は、ヴェルデナイト(株)の土壌改良剤による大豆の生産性向上と、(株)ボーダレス・ジャパンのバリューチェーン等にかかる知見を活用した大豆の流通促進による栄養改善の貢献を目指します。現地調査では、現地の行政機関や農家等を対象に、投資環境や許認可等の情報収集、市場調査、栽培状況や簡易試験栽培による製品の有効性の確認等を行います。

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「案件化調査」（注）として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

（注）案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行うもの。企業は、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を行う。2012年度から実施されており、2018年度第2回分は年9月に公示を行い、38件が採択。

参考：2018年度第2回公示の案件化調査(中小企業支援型)採択結果について

[https://www.jica.go.jp/press/2018/ku57pq00002htway-att/20190128\\_01\\_PressReleases\\_shiry02.pdf](https://www.jica.go.jp/press/2018/ku57pq00002htway-att/20190128_01_PressReleases_shiry02.pdf)

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 横浜 総務課 中小企業・SDGs ビジネス支援事業担当：池上、増田

**PRESS RELEASE**



独立行政法人国際協力機構  
横浜センター  
2019年4月1日

TEL : 045-663-3252    e-mail : [yictad@jica.go.jp](mailto:yictad@jica.go.jp)